

(案)

共 同 宣 言

鈴鹿市とベルフォンテン市は、友好協定調印30周年を迎えました。1991年8月7日に両市の各分野における友好の絆を強めることを望み、友好協定を締結して以来、青少年交流事業を中心に活発な相互交流を重ねてまいりました。

COVID-19の世界的な感染拡大に伴う様々な制限により、相互訪問はかないませんでしたが、新たな手法で、本日記念すべき友好協定調印30周年を共に祝うことができたことは、両市の歴史において、大きな躍進となったことを確信します。

ここに、友好協定の重要性と意義を再確認し、文化・教育・経済における交流の推進と継続を宣言します。

- 1 両市は、COVID-19の収束を見据え、市民の積極的な相互交流への参加と国際貢献への関心を促し、今後さらなる交流の継続に努めます。
- 2 様々な国籍、民族など異なる文化的背景をもつ人々が、いきいきと暮らせる社会の実現に向けて、共に取り組みます。
- 3 今後、両市に世界的な危機の影響があったとしても、両市の交流を妨げるものではありません。

2021年9月21日 鈴鹿市・ベルフォンテン市

鈴鹿市長
末松 則子

ベルフォンテン市長
ベン・スタラー